

地域の農林漁業者・組織



「地域経営」の推進

農山漁村の持続的発展



県内の取組事例

外ヶ浜町蟹田地区(外ヶ浜町農業・農村活性化協議会)

町内の集落営農組織や自治会などで構成する活性化協議会が、地元農産物を使った弁当の宅配や米粉加工品の商品化、子ども達への食農教育活動などを行っています。



平川市大光寺地区(農事組合法人 滝本水稻生産組合)

地域の水田農業を支える集落営農組織が、雇用と収益を生み出す新たなビジネスづくりを目指して、水稻育苗用のビニールハウスを活用した夏秋いちご生産や、地元産大豆や米粉を使った加工品づくりを行っています。



おいらせ町百石地区(百石漁業協同組合)

地区の主要水産物であるホッキガイの資源を安定利用するために漁獲量を制限するとともに、操業コストの削減のため、5経営体が1隻の漁船で操業する協業化により、経営の安定化に取り組んでいます。



県の支援策

将来の農山漁村の「地域経営」を支える組織や人材の育成に向けて、「地域の担い手は地域が育てる」仕組みを築くため、各市町村が設置する協議会等を通じて、地域が主体的に取り組む地域提案型事業等を推進します。

- 地域担い手育成総合支援協議会等による地域提案型の活動に対する支援
- 集落営農組織のリーダー育成、ネットワークづくりの支援
- 若手農業トップランナーの新たなチャレンジへの支援
- 「地域経営」をリードできる市町村、JA、NPO法人等の人財育成
- 「地域経営」を支援するアドバイザー等の情報の一元管理、活用促進

県では、農山漁村の集落など、地域を一つの「会社」と見立てて経営していく「地域経営」の取り組みを推進しています。「地域経営」は、地域の農業生産法人、集落営農組織、農林漁業者などが中心となり、様々な業種や産業とネットワークでつながることで、地域資源の新たな価値や雇用の場を生み出し、地域の経済・社会を支える新しい仕組みづくりです。地域に暮らす様々な人たちの知恵とアイデアが、これからの地域社会を支えます。農山漁村の魅力を大いに活用した、新たな「農山漁村ビジネスづくり」一緒に取り組みましょう。

青森の元気づくりは農山漁村から！

地域ぐるみで取り組むビジネスづくりとコミュニティの再生

「農山漁村の未来を支える「地域経営」」

